

# 小樽の研究活動

研修部長 小樽市立朝里小学校  
校長 石山 慎人

## 1. はじめに

小樽市小学校長会は、市内21校の校長をもって構成されている。

本会の研究活動は、これまで、確かな学力・豊かな心・健やかな体の育成、学校の自主性・自立性の確立、教職員の意識改革等の課題を解決し、本市の小学校教育の改善・充実にめざし、校長会としての一体感を大切にしながら、組織的な実践を積み上げてきた。



また、本市においては、教育委員会のリーダーシップの下、市民の信頼に応える学校づくりを目指し、小樽市学校教育推進計画「23の指針」を推進しており、各校において、市民の負託と家庭や地域の期待に応える小学校教育推進のため、「指針」にもとづく学校経営を基盤とした活動に取り組んでいる。

今年度は、第59回道小教育研究大会の開催地となり、小樽大会が新たなる起点となり、北海道教育のますますの発展・充実に資することを願い、大会運営に尽力した。

## 2. 研究計画

### (1) 研究課題

「新しい時代を拓き 心豊かにたくましく生きる日本人の育成を目指す小学校教育の推進」  
～心豊かに学び ふるさとに夢と誇りをもち たくましく生きる子どもの育成～

### (2) 研究組織

組織部、研修部、調査広報部、厚生部の4つの専門部が活動を推進している。

## 3. 研究活動（各専門部の活動）

### (1) 組織部

法令に基づき、愛情と信頼を基盤とした学校経営の確立を目指して、今日的な課題を踏まえ、校長としての職務の遂行や指導性を一層発揮し、関係法令の研究と調査活動を進め、本市小学校の学校経営の充実に図る。

- ・ 小樽地区教育経営研究会の開催
- ・ ブロック別管理職研修会の実施
- ・ 「校長必携」（法令・法規集）にかかわる関連事項のデータベース化
- ・ 学校管理規則や北海道立学校職員服務規程（関係様式）をデータベース化した全校に設置されるネットワーク「グループセッション」のファイル管理 など

## (2) 調査広報部

児童が安心して日常生活を送ることができる安全な環境をつくるため、中学校や高校及び関係機関との連携を密にし、児童の健全育成並びに教育環境の充実に向けた活動を推進する。

- ・ 小樽市小学校生活指導委員会に関する業務
- ・ 小樽市学校生活指導連絡協議会に関する業務
- ・ 小樽市PTA連合会、北海道PTA連合会の事業に関する業務
- ・ 通学路除排雪に関する資料作成、要望に関する業務
- ・ 資料や情報提供に関する業務 など

## (3) 厚生部

学校給食関係諸機関との連携調整の窓口となるとともに、学校保健関係諸機関との連携に努め、学校保健の向上に寄与する。また、校長会の福利厚生と親睦に関する業務を推進する。

- ・ 小樽市学校給食運営協議会
- ・ 小樽市学校給食共同調理場運営委員会
- ・ 小樽市学校給食衛生委員会
- ・ 小樽市学校保健会
- ・ 小樽市定期健康診断会議
- ・ 小樽市教職員体育大会推進委員会
- ・ メンタルヘルスセミナー事業推進会議 など

## (4) 研修部

全連小・道小の研究課題との関連において、研究テーマを設定し、本市の実態と学校教育上の課題を踏まえ、校長の果たすべき役割と校長としてのリーダーシップの発揮は、どうあるべきかについて、研究を進める。

<研究課題>

- ◇ 一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の内容の充実
  - ・ 特別な支援を必要とする子どもの実態把握とそれに基づいた指導計画の作成と充実
  - ・ 交流学習や共同学習等を効果的に位置付けた教育課程の編成
- ◇ 特別支援教育を効果的に推進するための体制の整備及び必要な取組
  - ・ 全校的な支援や関係機関との連携に基づく効果的な支援が機能する体制の確立
  - ・ 全職員が共通認識に立ち、一体となって推進するための校内研修の充実

## 4. まとめ

小樽地区は、本年度、「歴史と文化の街小樽より未来にはばたく子どもたちの夢に向かって新たな一步を」キャッチフレーズとして、第59回道小教育研究大会小樽大会の開催に向けて、一丸となって取り組んだことをまず成果としてあげたい。

その他、本会では、中学校長会と連携し、公開研究会の開催を共通目標として設定し、多くの小中学校で公開研究会を開催した。

今後とも、本市の学校教育に関わる課題に正対し、解決に向けて、学校改善に資する研究活動を推進していきたい。